



# 健康のかけはし

2008年  
第4号



リハビリテーション部  
技師長 河本 聡志

新年を迎え、心も新たに忙しい毎日をお過ごしのことと思います。私が、入職してから今年で11年目を迎えようとしています。11年前のリハビリテーション部は、南棟（旧C棟）の4階にありました。スタッフの人数も少なく、出来ることも限られておりずいぶん苦勞をしたことを思い出します。現在ではスタッフも20人と増え、それぞれが多岐に渡り専門性を生かしながら、ようやくチーム医療の一端を担うことができ始めました。

この11年の間に国の政策に伴いリハビリテーション医療も大きな変化がありました。ここ数年でめまぐるしく変わった診療報酬改定では、リハビリの日数制限（現在では緩和されています）や脳血管疾患・運動器・呼吸器・心大血管疾患という四つの疾患別に分けられた事、生活習慣病がリハビリの対象疾患とならなかった事など、決して患者様にとってプラスになることばかりではありませんでした。現在でもリハビリテーションの必要な慢性疾患が、リハビリテーションの対象となっていないものがあるのが現状です。

このように怒涛のごとく変化していく医療情勢の中、倉敷成人病センターが地域に求められている役割を明確にする必要が出てきたことは言うまでもありません。リハビリテーション部も同じく地域の中で特色を持った当院独自のリハビリテーションサービスを提供できるよう、日々模索しています。近年新たに始めた緩和医療への参加、リンパ浮腫への取り組みは、日に日にニーズの高さや必要性を感じています。また小児科医療の範疇では、発達障害の子どもたちの診断・訓練などが倉敷地域で強く必要とされていることも実感しています。

そのような中でいつもスタッフが心がけていることがあります。それは、患者と治療者である以前に人と人のお付き合いであること……。人として成長するためにこれからもそれを忘れることなく、知識と技術を駆使して患者様と接していきたいと思えます。

## 基本方針

わたしたちは『医学の進歩は人間を幸せにするためのものである』という原点を忘れずに、人間愛と向上心に富み、地域の人々から信頼される医療を提供することを目指す。

## 理念

1. 地域の人々から信頼される特徴ある病院
2. 明るい職場で最良の医療を提供する病院
3. 常に夢をもって前進する高機能を有する病院
4. 患者様の人権と意思を尊重する病院

# 診療案内

## 肝臓病治療センターについて

肝臓病治療センターは、急性・慢性肝炎から肝硬変および肝がんに至る一連の肝疾患を中心に診療しています。肝臓専門医と管理栄養士および看護師が最先端の医療を提供し、地域の患者様や先生方に医療貢献することを目標としています。



### ・診療内容の概要を述べます。

- 1 肝がんの治療は、負担の少ないラジオ波焼灼療法を中心に行っています。この治療は、局所麻酔後に肝がん中心部に電極針を刺しラジオ波を12分間照射します。腫瘍内が70%以上となるので腫瘍細胞が壊死します。副作用も少なく1週間程度で退院できます。
- 2 肝がんの予防としてC型慢性肝炎に対するペグインターフェロンとリバビリン内服の併用療法にて、ウイルス消失や発癌抑制効果が得られています。
- 3 肝硬変は、その時期により蛋白制限が必要なこともあり薬物治療だけでなく、管理栄養士による栄養指導にも力を入れています。
- 4 メタボリック症候群の臓器症状として脂肪肝が増加していますが、この1割程度に非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）が含まれています。NASHには肝硬変や肝がんの発生がみられ、注意が必要です。当センターではNASHに対する治療や経過観察が行える体制になっています。



最後に、肝障害は自覚症状が少なく「沈黙の臓器」と呼ばれています。健診で肝障害を指摘された場合には、無症状でも精密検査を受けることをお勧めします。当センターでは、専門のスタッフが直接診療に当たり、患者様といっしょに治療することをモットーとしています。



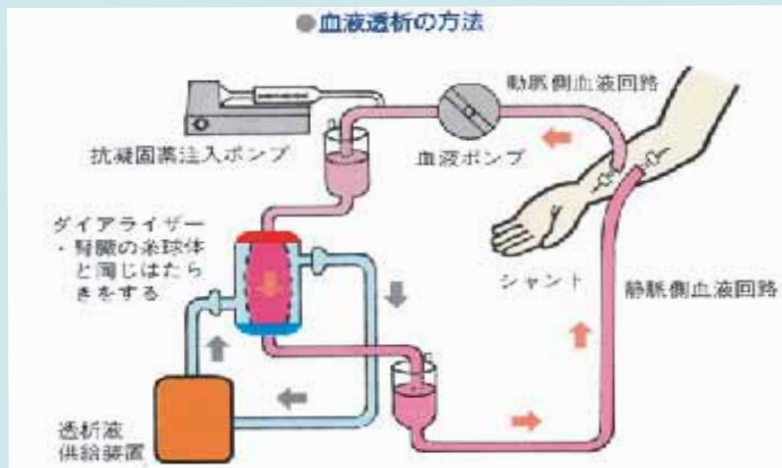
# 透析センターの紹介



私たち透析センタースタッフは、内科医師、看護師、臨床工学技士、メディカルスタッフで構成したメンバーで、透析患者さんに安全・安楽な透析療法を提供することを第一に考えています。また、生活指導・合併症の予防に努めています。

## 血液透析ってなあに？

血液透析とは尿毒素に汚染された血液を体外に導き、人工腎臓と呼ばれるダイアライザーの装置に血液を送り、

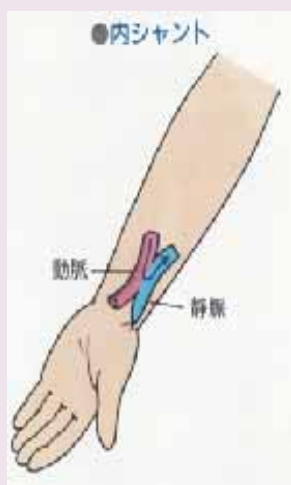


1. 尿毒素を取り除く。
2. 余分な水分を取り除く。
3. 電解質（ナトリウム、カリウム、カルシウム、リン）のバランスを整える。
4. 血液pH（酸性とアルカリ性）の調節をし血液をきれいにし体内に戻す方法です。



この治療は通常、1回4～5時間かけて週3回行ないますが、正常な腎臓の10%ぐらいの働きしかできません。透析患者さんは、水分や食事をはじめ日常生活の過ごし方に注意が必要です。

## 内シャントってなあに？



腕の動脈と静脈を皮膚の下で結合させるのが内シャントです。動脈から静脈に大量の血液が流れて静脈が膨らんでいきます。太くなった皮下の静脈に針を刺して血液回路と接続します。1分間に200ml前後の血液をダイアライザーに送れるのです。シャントは透析患者さんの命綱でもあります。

## フットケア

近年透析患者さんの高齢化、長期化、糖尿病性腎症の増加に伴い末梢循環障害が増えています。特に足病変は難治性で下肢切断に至ることも少なくないです。当センターでも足病変の予防や早期発見のため、同意を得た患者さんにフットチェックおよびケアを行っています。



これからも透析患者さんとは、患者さんご自身で自己管理ができるように一緒に考え、適切な方法を見出せればと思っています。そして透析ライフがより快適なものになるようにサポートしていきます。



## がんの専門 きめ細かいケアに高まる存在感

がん医療の技術向上ときめ細かいケアが求められるに従って、医師以外の専  
職種である「コメディカル」の果たす役割が大きくなってきています。  
当センターもさまざまな研修へ参加し、がん医療の充実を図っています。



薬剤師  
今村 牧夫  
(いむら まきお)

昨年度、がん専門薬剤師の資格取得のために東京都の聖路加国際病院で研修して参りました。  
がん治療においては初期から再発・緩和治療に至るまで薬物療法が大きな役割を果たします。がんの専門知識を  
有した薬剤師が医師・看護師と協力してチーム医療を実践することで、より安全で有効ながん薬物療法の提供が  
可能になります。

当院では全国に先駆けて、がん患者様に対する薬剤師外来  
『サポート外来』を開設しています。安全な外来がん治療を  
受けて頂けるようお手伝い致しますので是非ご利用下さい。

薬剤師

サポート外来

看護師

医師

Q どうしたら「サポート外来」を利用することができますか？

『サポート外来』の利用を希望される方は、主治医にご相談ください。



看護師  
竹本 由紀子  
(たけもと ゆきこ)

がん対策基本法に基づき質の高いがん医療（看護）の提供と均てん化のために、私たちががん看護を実践  
する看護師は知識や技術、実践力を培っていく必要があります。

厚生労働省の「専門分野における質の高い看護師育成事業」の一環として、平成19年10月～11月の8週間  
「岡山県がん看護に関するエキスパートナース育成実務研修」に参加し、岡山大学病院で講義（47時間）  
と実習（193時間）を受けました。

この研修でがん性疼痛の患者様を受け持ち、患者の痛みにしっかり  
寄り添いながら症状をていねいにアセスメントすることで症状マネ  
ジメントができた事例を学びました。



Kurashiki  
Medical  
Center

財団法人 倉敷成人病センター

〒710-8522 岡山県倉敷市白楽町250  
TEL:(086)422-2111 FAX:(086)422-4150  
<http://www.fkm.c.or.jp>  
info@fkm.c.or.jp

